

平成 22 年 9 月 29 日

各 位



代表者名 代表取締役社長 常峰 仁  
(コード番号 : 8589 大証一部)

株式会社 新生銀行  
代表者名 代表取締役社長 当麻 茂樹  
(コード番号 : 8303 東証第一部)

## 新生銀行とアプラスフィナンシャルにおける個人向け貸出業務での連携の強化について

新生銀行と連結子会社、株式会社アプラスフィナンシャル(以下、「アプラスフィナンシャル」)は、個人向け貸出業務での連携を強化いたします。新生銀行とアプラスフィナンシャルとのシナジー効果を期待できる業務・事業分野として、新生銀行の住宅ローン「パワースmart住宅ローン」において、アプラスフィナンシャルの連結子会社、株式会社アプラス(以下、「アプラス」)が提供する「住宅つなぎローン(アプラスブリッジローン)」のご紹介を行います。また、アプラスが加盟店を通じて実施している個人のお客さま向けショッピングクレジット事業においては、新生銀行が提携ローンを提供いたします。それぞれの連携の詳細は以下のとおりで、10月1日より開始いたします。

### 1. 住宅ローン業務での連携

新生銀行の「パワースmart住宅ローン」の利用をご検討されているお客さまに対して、住宅建築における工事請負契約が締結されており、かつ建築確認がなされている土地の購入資金および住宅建築にかかる中間金の支払資金の必要が生じた場合、アプラスで取り扱う「住宅つなぎローン(アプラスブリッジローン)」のご紹介を開始いたします。

新生銀行では、本件の実施によって、年間 120 億円(年間 600 件)の住宅ローンの新規貸出を見込んでおります。これにより、アプラスでは、年間 600 件、90 億円の新規の優良債権の積み上げを見込んでおります。

アプラスは、新生銀行との連携を第 1 号として、今後、その他の金融機関が取り扱う住宅ローンをご利用になるお客さまに対しても「住宅つなぎローン(アプラスブリッジローン)」の提供を可能とすることで、更なる収益基盤の拡大を目指します。

### 2. ショッピングクレジット事業での連携

新生銀行では、アプラスが加盟店を通じて実施している個人のお客さま向けショッピングクレジット事業に関して、新生銀行が融資会社となって資金提供を行い、アプラスがその保証を行う信用保証スキームによる提携ローンの提供を開始します。

アプラスの提携ローンについては、お客さまの資金使途が、自動車や家電製品の購入資金のほか、近時は太陽光発電システムやエコキュート、オール電化の導入資金へも拡大していることから、本件の連携により、新生銀行としては、社会的要請である消費者向け貸付けへの積極的な資金提供を実現するとともに、貸出資産と収益の多様化を図ることが可能となります。また、アプラスは、この分野において新生銀行と一体となった柔軟な商品開発が可能となり、信用保証残高の積み上げが期待される一方で、調達手段が一層拡充されることなどにより、より効率の高い積極的な営業展開が可能となります。

新生銀行グループでは、個人のお客さまに対してグループ全体でより良い商品・サービスを提供するため、リテールバンキングとコンシューマーファイナンス業務の再編や見直しを行ってまいりました。アプラスフィナンシャルにおいては、新生銀行とのシナジーをより具現化し、同社の経営体制を強化するため、平成 22 年 6 月には、新生銀行の執行役員がアプラスフィナンシャルの社外取締役役に就任しております。新生銀行では、今後も同社との連携を強化してまいります。

以 上

報道機関からのお問い合わせ先

(株)アプラスフィナンシャル 企業戦略部 金崎 TEL:03-5229-3986